

## ②耐食性能「ZAM®」（日新製鋼株式会社データ資料より抜粋）

主材は高耐食溶融めっき鋼板「ZAM」を使用しております。

### 特徴

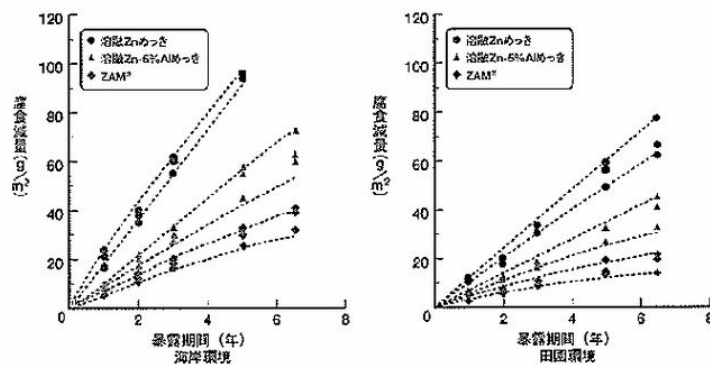
- 1) 耐食性が、溶融亜鉛めっき鋼板（ペンタタイト B）に比べ10～20倍、溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板に比べ5～8倍優れています。
- 2) めっき層の組成が Zn-AR（6%）-MN（3%）からなる非常に微細な結晶組織を持ち、通常の溶融亜鉛めっき鋼板より硬く、優れた耐摩耗性、耐疵付き性を有しています。

### 耐久・腐食性能

#### 1) 屋外暴露

約7年の暴露結果では、溶融 Zn めっき（ペンタタイト B）の約4倍の耐食性を示しています。Zn-Al めっき鋼板は、時間の経過とともに腐食減量が低下する傾向にありますので、今後、さらにその差は広がるものと推察しております。

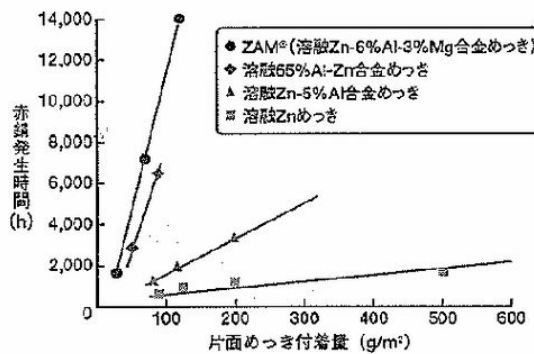
屋外暴露試験によるめっき層の腐食減量



#### 2) 促進耐食性（塩水噴霧試験）

塩水噴霧試験（SST：JIS Z2371）による赤錆発生時間「ZAM」は溶融亜鉛めっき（ペンタタイト B）、溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっきに比べ優れた耐赤錆性を有しています。また、その耐食性のレベルは溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき（ガルバスター）に匹敵します。

塩水噴霧試験による赤錆発生時間（無処理）



#### 3) 耐食性発現機構

めっき層に含有される MN と AR の効果により、時間の経過とともに緻密で付着性の強い二層構造の保護被膜をめっき表面に形成し、めっき層の腐食を抑制するため、優れた耐食性を発揮します。

